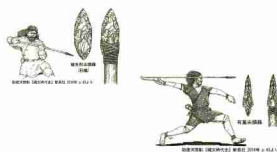


日本列島の誕生と縄文文化

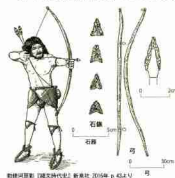
日本列島の誕生 1万年前



大型動物をとらえる槍・尖頭器



小さな動物には弓矢



サヌカイト製の石器は近畿一円に



石材をどんな方法で手に入れたのか



石器石材が広がる条件は何か？

全国の遺跡から、他の地方の石材が出る。
石材のない所の人が手に入れる方法を考えよう

- ・ 移動生活をしてた人たちが持って歩いた
- ・ 石材の取れる所まで取りに行った
- ・ 近くのむらで持っている人と、何かと交換した(物々交換)
- ・ 近くのむら から むらへ バケツリレー的に交換された

縄文時代は1万年続いた

「なんでやねん」№20「原始時代の年表」で確認しよう

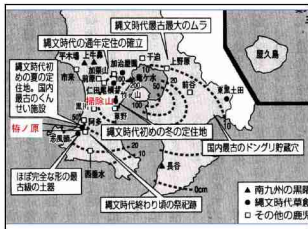
- ① いつごろ、定住するようになったのだろうか？
- ② 移動生活と定住生活は、何が違うのか？
- ③ 定住生活を可能にした条件は何か？
- ④ 木の実で栄養は足りたのか？
- ⑤ 木の実を食べるようになると、人々の役割はどのように変わったのだろうか？

初めは振り子型の定住生活だった

【南九州の縄文時代早期の遺跡・南九州の遺跡】



桜島の火山灰におおわれた南九州の遺跡
点線は埋没した火山灰の厚さ。約1万1000年前に噴出した。
(資料出所：関野謙雄『縄文の全図説』講談社学術文庫2009年A4版。)



かこいのばら そろそろき

柵ノ原遺跡(草創期)

- ・ 寒冷期の最後(今より気温が2℃ほど低い)
- ・ 1万1000年前の桜島の噴火で火山灰に埋もれた
- ・ 数人が住める程度の堅火(たてあな)住居跡が残る
- ・ 炉(ろ)のあとや石皿・磨石(すりいし)が残る
- ・ 磨製石斧(せきぎょ)も多く発見される
- ・ 煙道(えんどう)付き炉穴(ろあな)も発見される

植物を採集し、漁労・狩りをした



かこいのほら ふながた はい せき ろ
柁ノ原遺跡の舟形配石炉



かこいのほら せきろ
鹿児島県柁ノ原遺跡出土の磨製石斧



そうじやま
掃除山にも同じ規模の遺跡

- ・ 柁ノ原遺跡から、北に30km離れた掃除山
 - ・ ほぼ同じ規模で、同じような作りの竪穴住居
 - ・ 同じ舟形配石炉・煙道付き炉穴がある
- ↓
- ・ 同じ人々が、季節的に移り住んだ

磨製石器と縄文土器で何がわかるか

石皿(いしざら)と磨石(すりいし)



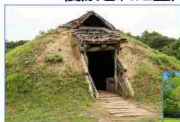
石皿は2kgから4kgの重さ



たて あな じゆう きょ
竪穴住居は穴を掘って建てられた



復元された竪穴住居



岩手県 御所野遺跡 縄文時代中期後半の集落遺跡

仕事の役割に変化がおきた

旧石器時代の狩りは男性がした
縄文時代では、女性も子どもも仕事をした

- 旧石器時代の狩りは危険で体力が必要
- 弓矢と「わな」や「落とし穴」を使うようになると
狩りにも、女性や子どもでも出来る役割があった
- 土器作りは女性の仕事になった
- 木の実の採集は女性や子どもの役割
- 男性には狩り以外の仕事をする時間が生まれた

人が生きるのに必要な熱量は？

年齢・性別	総熱量		糖質		タンパク質		脂質	
	kcal	g	g	g	g	g	g	
3～14歳	1,600	250	400	5.5	100	0.7	20	
15～17歳	1,700	270	500	5.5	400	0.7	20	
18～19歳	2,050	300	700	10.0	600	1.2	14	
20～24歳	2,100	300	750	10.0	600	1.2	14	
25～29歳	2,050	300	700	10.0	600	1.2	14	
30～34歳	2,000	280	650	9.5	550	1.1	14	
35～39歳	1,950	270	600	9.0	500	1.0	13	
40～44歳	1,900	260	550	8.5	450	0.9	12	
45～49歳	1,850	250	500	8.0	400	0.8	11	
50～54歳	1,800	240	450	7.5	350	0.7	10	
55～59歳	1,750	230	400	7.0	300	0.6	9	
60～64歳	1,700	220	350	6.5	250	0.5	8	
65～69歳	1,650	210	300	6.0	200	0.4	7	
70～74歳	1,600	200	250	5.5	150	0.3	6	
75～79歳	1,550	190	200	5.0	100	0.2	5	
80～84歳	1,500	180	150	4.5	50	0.1	4	
85～89歳	1,450	170	100	4.0	0	0.0	3	
90～94歳	1,400	160	50	3.5	0	0.0	2	
95～99歳	1,350	150	0	3.0	0	0.0	1	

注：1. 総熱量は、基礎代謝量(安静時消費エネルギー)と活動エネルギー(身体活動による消費エネルギー)の合計である。2. 糖質は、炭水化物と糖アルコールの合計である。3. タンパク質は、動物性タンパク質と植物性タンパク質の合計である。4. 脂質は、動物性脂質と植物性脂質の合計である。5. 1kg = 1,000g

資料元：厚生労働省「日本人の食事摂取基準(2015年版)」

何でエネルギーを取るか

主な食材のエネルギー(可食部100gあたり)

品名	kcal	品名	kcal
玄米	350	コーンフレーク	381
精白米	356	さつまいも(生)	132
玄米めし	165	サトイモ(生)	58
精白米めし	168	ジャガイモ(生)	76
全がゆ	71	フライドポテト	388
焼きおにぎり	181	牛肉(かたロース)	308
もろ	235	牛肉(霜降りブロス)	511
赤飯	189	牛肉(霜降り)	454
小麦粉(薄力粉)	368	豚肉(かた皮下脂肪なし)	171
食パン	264	豚肉(霜降り)	328
フランスパン	278	豚肉(もも皮下脂肪なし)	148
うどん	270	あさり(生)	30
即席中華麺	445	かき(養殖 生)	60
スパゲッティ	378	ささぎ(生)	89
そば(生)	274	しし(小)(生)	51
干しそば	344	はまぐり(生)	38
ポップコーン	484	ホタテ貝(生)	72

15訂 最新栄養素(1)～(14) 資料1 健康栄養学 2005年版より。

木の実のカロリーが高い

可食部100gあたり

- 精白米 356キロカロリー(タンパク質9g)
- トチの実 370キロカロリー(タンパク質3g)
- クヌギの粉 340キロカロリー(タンパク質6g)
- オニグルミ 672キロカロリー(タンパク質24g)
- カヤの実 612キロカロリー(タンパク質12.2g)
- ブナの実 524キロカロリー(タンパク質25g)

江原純子・石川尚子・東田柳祥子『日本食物史』吉川弘文館
2009年 p.15 より。

食べられた クリ と ドングリ



木の実の渋い(アグがある)

- 縄文人は、アグ抜き技術を開発した
- 4つの方法 (どれも先に殻を取り乾燥させてから)
- 丸のまま川の水でさらす (80日～100日間)
- 粒にして川の水でさらす (30日～45日間)
- 粉にして、土器に入れて、何度も水かえをする (7日～20日間)
- 粉にして、土器で水を足しながら煮る (3日間)

縄文人の寿命は短かった

- 江戸時代でも、出産の15%くらいは死産
・・・産まれても5歳までに約1/4が死んだ
- 子どもの墓は、大人の約6倍ある(三内丸山)
・・・住居の近くに埋められた(多くの遺跡)
- 15歳時での平均余命(あと何歳くらい生きる)は
男は16.1歳、女は16.3歳
・・・平均31歳位で死んだ

何歳で親になったんだろう？

40歳を超える人もいたが、寿命が平均31歳だと
子孫が残るためには、

何歳で子どもを産む必要があったのか？

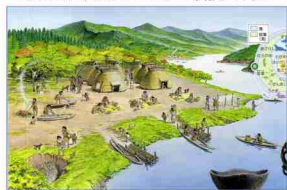
- 子どもが自分で生きることのできる年齢は？
- おそらく、15歳から16歳で親になった
- 子どもは、10年間くらいで生きる知恵を受け継ぐ必要があった

生きる知恵は どう伝わったか

縄文時代に学校はない

- 子どもはだれから生きる知恵を学ぶのだろう
- 身近な大人(親)や兄弟から学んだ
- とても強い家族のつながり
- むらの大人から学んだ
- むらの若者から学んだ

想像図「縄文のむら」の根拠は何か



とり はま かいづか

鳥浜貝塚

- 縄文時代 草創期から前期
- 今から約12,000～5,000年前
- 福井県三方上中郡若狭町
- 集落の遺跡
- 保存良好な木製遺物など 1,376点が国の重要文化財に指定されている。



これは何だろう？



- ・ うんこの化石
- ・ 人のうんこ (人糞)
- ・ 犬の糞 (ふん)

鳥浜貝塚の遺物から分かったこと



教科書・東京書籍『新しい社会 歴史』p.33より。

丸木船で外洋へ

鳥浜貝塚(縄文早期)の丸木舟



浦入遺跡(縄文前期)の丸木舟



漆塗り(うるしぬり)をしていた



漆塗りの木のお椀



漆塗りの木のくし

福井県鳥浜貝塚出土

なか ぎと かい づか

中里貝塚



浜辺で貝の蒸し焼きをした

ストーンボイリング



中里貝塚

縄文時代
中期中頃から後期初め
(約4600～3900年前)

東京都北区上中里にある貝塚。
国の史跡に指定されている。
縄文時代の「水産加工場」と言われる。



中里貝塚のハマグリとマガキ

ほとんどの土偶は壊されている



国宝 縄文のビーナス



長野県茅野(かやの)市 棚畑(たなばたけ)遺跡出土

青森県三内丸山遺跡(中期)



多くの種類の打製石器と磨製石器



三内丸山遺跡出土品



骨角器 めい針 と 釣り針



三内丸山遺跡出土 骨角器の縫い針

様々な木製の道具



ヒノキで編んだボシエツ



漆が塗られた木の器

三内丸山遺跡出土品

環状列石(大人の墓)



三内丸山遺跡出土品

死んだ子どもは土器に入れられ 住居の近くに埋葬された



三内丸山遺跡出土品

